

かんだつ

神立地区

(新潟県湯沢町)

- 計 画 期 間 平成 23 年度～平成 27 年度
- 面 積 24.88 h a
- 交付対象事業費 1,141 百万円
- 町人口 8,134 人 (地区内人口 286 人)

ポイント

子どもたちの未来をつくる、安全安心なまちづくり。

目 標

- ・住民が安心して生活できる防災環境の整備
- ・子どもたちが安心して学べる環境づくりの推進
- ・多様な保育ニーズに対応した、安心して子育てができる環境の整備

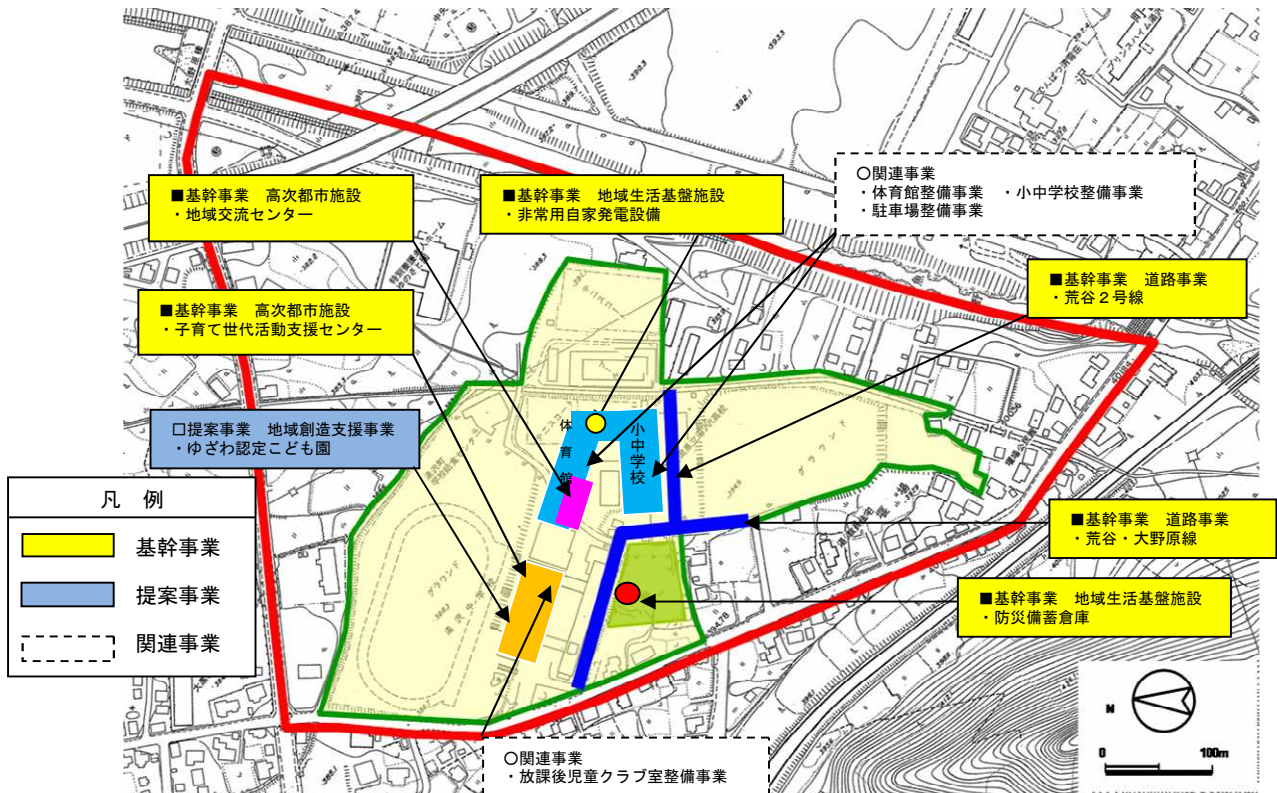
指 標

耐震不足の教育施設を整備するとともに、教育環境や子育て支援環境を整備し、教育や子育て支援の体制を整え、その満足度を指標とした。

町有公共建物の耐震化率	68%	(H22)	→	87.5%	(H27)
教育環境や施設の満足度	49%	(H21)	→	61%	(H27)
子育て支援体制の満足度	35%	(H21)	→	48.6%	(H27)

事業内容

- 基幹事業 (358.3 百万円) → 道路整備(2 路線 L=330m W=5m)、防災備蓄倉庫整備、非常用自家発電設備、地域交流センター整備、子育て世代活動支援センター整備
- 提案事業 (782.7 百万円) → 認定こども園整備、事業効果分析調査



地区の現況と課題

防災

危険建物に認定されていた湯沢中学校校舎と耐震改修が必要な小学校4校は、耐震性が強化された小中一体型校舎を建設し、安全な教育環境が実現できた。また、防災備蓄倉庫及び非常用自家発電設備を整備し、災害発生時の避難所の拠点となった。

教育

中学校と小学校5校を統合した湯沢学園の新設により、学校規模の適正化と複式学級の解消が図られ、偏りのない共通の学習環境が実現できた。

子育て

町内4つの保育園を統合した認定こども園と総合子育て支援センターの整備により、多様な保育サービスの提供やよりきめ細やかな子育て支援が可能となった。



完成した小中一体型校舎・認定こども園



現在の地域子育て支援センター

提案事業の特徴

認定こども園整備事業

当該地区に、中学校校舎の建替えと併せて、町内の小学校を統合し、小中一体型校舎の整備とするとともに、町内の各地区ある保育園を統合し、保育所型認定こども園として整備する。



防災備蓄倉庫

計画策定プロセス

湯沢中学校建設検討委員会⇒内部検討⇒地域説明会

⇒文教施設整備委員会⇒地域説明会

平成19年12月に湯沢中学校建設検討委員会を設置し、今後の湯沢町の教育、校舎整備などについて検討し、湯沢中学校建設基本計画書を策定した。

その後、その計画書を基に関係各課で内部検討により、平成21年3月に取得した旧湯沢高校跡地と現在の中学校の用地に、中学校と小学校5校を統合した小中一体型校舎と、保育園5園を統合した認定こども園を整備する教育構想を策定して地域説明会を行った。また、教育構想と併せて、同敷地内に防災備蓄倉庫及び非常用自家発電設備などの整備を行い、災害時における避難所の拠点とする方針を定めた。

さらに、教育構想の具体化に向け平成22年5月に一般公募町民や保育園・小中学校の保護者、学識経験者、小中学校長、行政職員で構成する文教施設整備委員会を立ち上げ、教育・保育・建設の三分科会において検討を行い、「湯沢町統合文教施設検討結果報告書」をまとめた（平成23年2月）。また、その内容を地域へ説明した。



非常用自家発電設備

